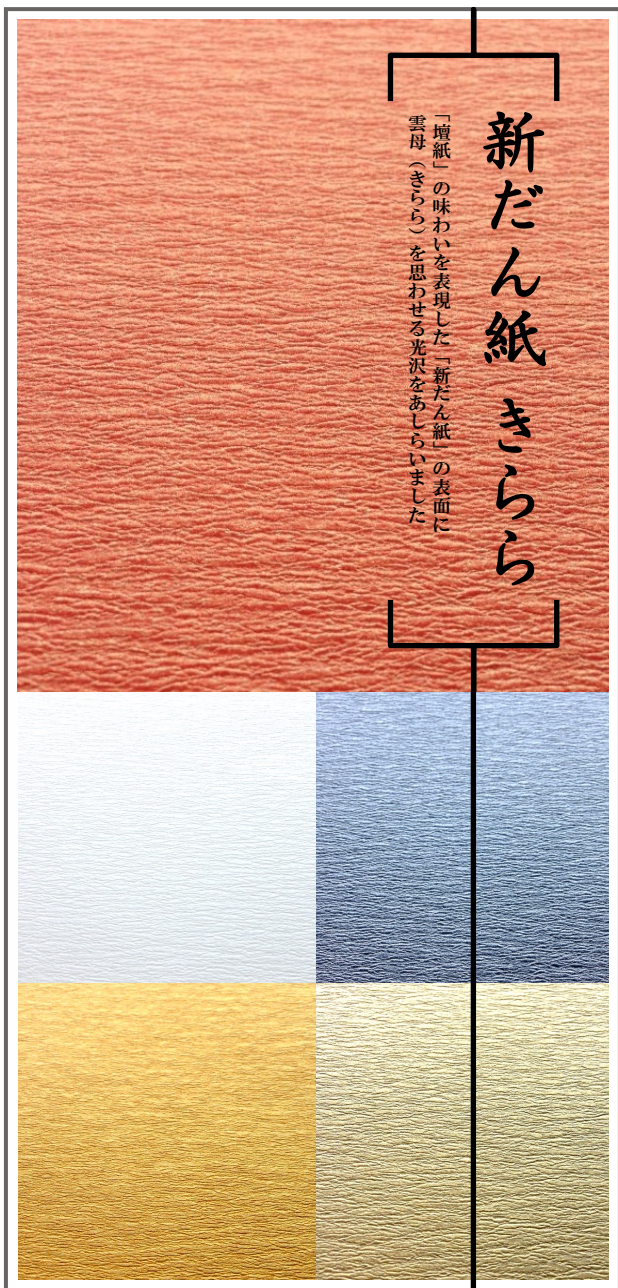


新だん紙 きらら

「壇紙」の味わいを表現した「新だん紙」の表面に雲母（きらら）を思わせる光沢をあしらいました



『新だん紙』とは・・・

新だん紙という名前は、手すき和紙の「壇紙」を模していることに由来する。この紙は、1967年頃、当時家庭紙とファインペーパーを併抄していた今の富士事業所において、新製品のアイデアを検討する中から生まれた紙である。当初、凹凸のあるクレープ（ちりめん状のしわ）を、どのように処理すれば印刷が可能になるかが課題であった。色を付ける事は特に問題なかったが、オフセット印刷適性を持たせるためには、クレープの形状や乾燥条件等、現在の設定に落ち着くまでに長い時間を要した。試作したものを楸竹尾へ持込み、何度も折衝を行って最終的に商品化が実現し、発売に至ったのはアイデアが生まれてから3年後の1970年になってからであった。当社のアイデアで商品化を実現した最初のファインペーパーということもあり、

当社のカレンダーは継続して新だん紙を本文に使用している。風合いが好評で、用途が拡大するにつれ、トラブルの指摘も多少あったが、工場を上げて対策を練り、現在の安定した品質へ辿り着いた。市場からの支持を得ると、すぐに類似品が発売された。しかし類似品が出ると、むしろ新だん紙の評価が高まり、和風な柄物ファインペーパーとして、出版、印刷、紙器・パッケージ等全般に用途をもつ、当社を代表する銘柄となった。

きららで再アピール

新だん紙は、壇紙の味わいを表現したクレープを特長としているため、その風合いを残したまま、雲母（きらら）を思わせる光沢を付与することは非常に難しい。そこで、新しいコーティング技術を模索し試行錯誤の末、新だん紙への雲母引きを実現。これにより、新だん紙に新しい幅が

規格	色	重量	価格
四六判Y目	真珠	1091 × 788	110kg
	砂金・砂金・金	1091 × 788	110kg
四六判Y目	真珠	1091 × 788	110kg
	砂金・砂金・金	1091 × 788	110kg
80kg	真珠	1091 × 788	110kg
	砂金・砂金・金	1091 × 788	110kg
5色（真珠・砂金・金・すず・さんご）	真珠	1091 × 788	110kg
	砂金・砂金・金	1091 × 788	110kg
80kg	真珠	1091 × 788	110kg
	砂金・砂金・金	1091 × 788	110kg
5色（真珠・砂金・金・すず・さんご）	真珠	1091 × 788	110kg
	砂金・砂金・金	1091 × 788	110kg
80kg	真珠	1091 × 788	110kg
	砂金・砂金・金	1091 × 788	110kg
5色（真珠・砂金・金・すず・さんご）	真珠	1091 × 788	110kg
	砂金・砂金・金	1091 × 788	110kg

広がった。原紙に雲母を組み合わせ、100色以上の色を作り出した。しかし、新だん紙の持つ「和」のイメージを崩す色は、新だん紙にはそぐわない。デザイナーを中心に実施したアンケートも参考に、新だん紙の「和」のイメージを強調する日本古来の材料、そんな色を探して色を絞り込んでいった。汎用性の高いベシックカラーには、濃淡・色相のバリエーションで「真珠」「砂金」「金」の3色を揃えた。そこにインパクトカラーとして青味のある「すず」、祝儀の和洋どちらにも対応可能な「さんご」を加え、5色のラインナップに決定した。新だん紙（クレープ紙）に塗工という、ウチにしかできない手法で、新だん紙に特徴のある色を加える。それによって、もう一度ユーザーに新だん紙を見てもらおう。そんな思いも込めながら、新だん紙発売から45年目の今年、「新だん紙 きらら」新発売。